

公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先 潟東ゆう学館(0256-86-2311)

| | | | |
|---------|--|-------|-----------|
| 年度 | 平成27年度 | | |
| 施設名 | 新潟市潟東樋口記念美術館、新潟市潟東歴史民俗資料館 | 所管部・課 | 西蒲区役所・地域課 |
| 施設の設置目的 | 樋口記念美術館：旧潟東村出身の樋口顕嗣氏寄贈の絵画、彫塑品、陶芸品、漆芸品、貴金属類を收藏・展示・公開し、市民の学術及び文化の向上に寄与するため 歴史民俗資料館：ふるさと創生事業の一環として、潟東地区の歴史資料、民俗資料、考古資料その他の資料を保存し、及び公開することにより、市民の歴史及び文化に対する理解を深めるとともに、市民文化の向上に資するため | | |

| | | | | | |
|----------|-------|---------|---|-----|----------|
| 当初予算(千円) | | 当初人員(人) | | 作成日 | H27.6.5 |
| 歳入 | 296 | 正職員 | 0 | 修正日 | |
| 歳出 | 9,657 | 非常勤 | 0 | 評価日 | H28.5.27 |

| No. | 視点 | 目標 | 評価指標 | | | | | 参考・補足 | 主な事業等 | 目標達成状況 未達成理由 | 評価 |
|-----|----|------------------------------------|--------------------------|--------|--------|--------|----------|--------|---|---|-------|
| | | | 項目 | H24実績 | H25実績 | H26実績 | H27目標 | | | | |
| 1 | 市民 | 観覧者の増加を図る | 観覧者の増加(人) | 2,674人 | 1,277人 | 1,337人 | 1,350人以上 | 1,392人 | 前年度実績以上を目標とする | 特別企画展を2回実施し、有料観覧者数が増加した。 | B:達成 |
| 2 | 市民 | 接客サービスにおける苦情をできる限り減らす | 苦情件数(件) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 接客に対する苦情は無く目標を達成した。 | B:達成 |
| 3 | 市民 | 市民からの要望、苦情へすばやく対応する | 要望苦情対応までの日数(週) | — | — | — | 1週間以内 | — | | 該当案件なし。 | B:達成 |
| 4 | 財務 | 管理経費を節減する 消耗品費、燃料費、郵便料 経費の削減 | 管理経費増減率(%) | 26%減 | 243%増 | 52%減 | 前年度実績額以下 | 72%増 | | 経費削減に努めたが、美術館消耗品費の増加により目標を達成できなかった。 | C:未達成 |
| 5 | 業務 | 事故発生をできる限り防止する | 事故発生回数(回) | 0 | 0 | 0 | 1回以下 | 0 | | 事故発生は無く目標を達成した。 | B:達成 |
| 6 | 業務 | 特別企画展を年1回開催する | 企画展開催(回) | 1 | 1 | 1 | 1回 | 2 | 9月11日から10月12日まで、「尾竹三兄弟の屏風を中心とした作品展・金子孝信の生誕100年特別展」の開催 | 例年の特別企画展のほかに、潟東文化振興会と連携し、潟東にゆかりのある赤塚不二夫生誕80年記念展を開催した。 | B:達成 |
| 7 | 業務 | 防災訓練を積極的に行う | 防災訓練回数(回) | 2 | 3 | 3 | 3回 | 3 | | 消防計画に基づき消防訓練を実施した。 | B:達成 |
| 8 | 人材 | 情報の共有化 | 施設管理面での情報を共有するため打合せ会議を行う | 2 | 2 | 2 | 2回 | 2 | | 管理人との打合せ会議を目標どおり開催した。 | B:達成 |
| 9 | | | | | | | | | | | |
| 10 | | | | | | | | | | | |

| | |
|--|--|
| 取り組みについて(目標設定の考え方など) | 総合評価 (評価を踏まえた課題分析・方向性など) |
| 市民の歴史文化に対する理解を深め、学術及び文化の向上を図るため観覧者数の増加を目指します。 経費をできるかぎり抑えることによって財務体質の強化を図ります。 | 常設展で收藏資料等の展示替えを積極的に行いました。また、特別企画展を2回開催したことで、前年度比較で有料入館者数が39%増、入館料が41%増となりました。 お茶の間美術館展示は、新聞記事に掲載され地域の話題となりました。 美術館、資料館には貴重な收藏資料が多数あり、今後とも計画的に防火対策・初期訓練などを行い防災意識を高めていきます。 |